

# クローバー通信

## 女性医師へのメッセージ

消化器内科 平石 秀幸

医師国家試験の合格者に占める女性の割合は最近では約3分の1であり、女性医師就労支援のため、当院には女性医師支援センターが開設されています。

「女性医師へのメッセージ」執筆の機会をいただきましたので、過去7年間に獨協医大消化器内科に入局された女性医師の勤務状況をご紹介します。2004年に臨床研修必修化が導入された後の入局者になります。消化器内科医の勤務内容は、3k職（救急および重症が多くきつい、侵襲的な検査治療が多く危険、消化器疾患を扱うため汚い）であり、最近の女性医師就労の実態を反映しているというには無理があるかもしれません。過去7年間の女性医師の入局は9名で、うち獨協医大病院および関連医療施設での勤務が5名、配偶者の都合によりその他の医療施設での勤務が3名、育休が1名という状況です（一方、男性医師15名のうち14名が医局に在籍、1名は実家医療施設の後継）。女性医師の場合ライフステージにより勤務内容も変化しますが、彼女たちが消化器内科医として地域医療に貢献している事実を頼もしく思っています。このように、国、県、大学病院の女性医師支援センターのご協力を得て女性医師の継続勤務あるいは再就業を現実的なものにするには、高齢社会を迎えた日本の医療および社会にとって必要不可欠なことです。再就労の意思をお持ちの方は柔軟な勤務形態も可能ですので、まずは支援センターまでご相談いただければ幸いです。

## ～女性医師支援セミナーに参加して～

文部科学省補助事業として施行されている「大学病院人材養成機能強化事業(大学病院間の相互連携による優れた専門医等の養成)」の中の「関東・信州広域循環型専門医養成プログラム」として、今回、埼玉医科大学主催でこのセミナーが行われました。女性医師が誇りを持って働き続けるには～充実した後期研修とキャリア形成を目指して～というテーマのもと、群馬大学、日本大学、



埼玉医科大学の女性医師支援担当者より、それぞれの取り組みについて報告がありました。本学からもセンター長望月と事務山本が参加し、報告してまいりました。そしてその後のパネルディスカッションにおいて、後期研修医(レジデント)の時期におけるキャリアアップ支援等に関し、現時点での課題や今後の支援の在り方について活発な意見交換があり、大変充実したセミナーとなりました。

## ～クローバー交流会のお知らせ～

- 日時 9月1日(土) 14:00～15:30
  - 場所 女性医師支援センター クローバーにて
  - ロールモデル紹介 《皮膚科》嶋岡 弥生 先生 《小児科》山口 綾 先生
- 飲み物とお菓子(お子様にはおもちゃも)を用意してお待ちしておりますので、ぜひお問い合わせの上、ご参加ください。



お問い合わせ先

女性医師支援センター(内線3486)

✉ E-mail [clover@dokkyomed.ac.jp](mailto:clover@dokkyomed.ac.jp)